

関西エリアにおける電力需給状況等について

関西電力株式会社
2023年2月6日



今冬におけるエリア別の需給バランス	2
今冬の最大電力実績の推移	3
来年度のエリア別の需給見通し	4
今冬の需給対策	5
需要面における具体的な取り組み	6 ~ 13
(参考) 至近の燃料市況	14 ~ 17
(参考) JEPXスポット市場の動向	18 ~ 19
「電気・ガス価格激変緩和対策事業」に係る措置	20 ~ 24
(参考) 旧一般電気事業者の規制料金の状況	25
高圧・特別高圧お客さま向け「標準メニュー」受付開始	26

今冬におけるエリア別の需給バランス

関西エリアの今冬需給バランスについては、1月の想定需要2,623万kWに対し、供給力が2,770万kW、予備率が5.6%となり、電力の安定供給に必要な予備率(3%以上)を確保。

【出典】電力需給検証報告書（2022年10月 電力広域的運営推進機関）から抜粋

(3) 2022年度冬季の電力需給の見通し ：2022年度 冬季見通し

- 厳寒H1需要に対して、電源 I'、火力増出力運転、エリア間融通に加え、kW公募の落札電源および落選案件を供給力として見込むと、全てのエリアで予備率4%以上を確保できる見通し。
- 安定供給に最低限必要な予備率3%は上回っているものの、今後の発電機の計画外停止等の供給力変化を注視し、必要に応じて対策を講じる必要がある。

＜電源 I' 考慮、火力増出力運転 考慮、連系統 活用、計画外停止率 考慮、不等時性 考慮＞ (送電端万kW)

【12月】	東3エリア	北海道	東北	東京	中西6エリア	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	9エリア	沖縄	10エリア
供給力 (内 電源 I')	7,021 (146)	592 (10)	1,471 (40)	4,958 (95)	9,078 (242)	2,452 (73)	548 (14)	2,657 (81)	1,191 (28)	543 (13)	1,688 (34)	16,099 (388)	166 (388)	16,265 (388)
最大需要電力	6,405	517	1,347	4,540	8,452	2,283	510	2,474	1,109	506	1,571	14,857	115	14,972
供給予備力	616	75	124	417	626	169	38	183	82	37	116	1,242	51	1,293
供給予備率	9.6	14.4	9.2	9.2	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	8.4	44.5	8.6
予備力3%確保 に対する余剰分	424	59	83	281	373	101	22	108	49	22	69	796	48	844
【1月】	東3エリア	北海道	東北	東京	中西6エリア	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	9エリア	沖縄	10エリア
供給力 (内 電源 I')	7,798 (146)	585 (10)	1,546 (40)	5,668 (95)	9,298 (242)	2,554 (73)	579 (14)	2,770 (81)	1,183 (28)	534 (13)	1,678 (34)	17,096 (388)	158 (388)	17,254 (388)
最大需要電力	7,470	542	1,484	5,443	8,804	2,419	548	2,623	1,120	506	1,589	16,274	119	16,392
供給予備力	329	43	61	225	494	136	31	147	63	28	89	822	39	861
供給予備率	4.4	7.9	4.1	4.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.1	33.1	5.3
予備力3%確保 に対する余剰分	104	27	17	61	229	63	14	68	29	13	41	334	36	369
【2月】	東3エリア	北海道	東北	東京	中西6エリア	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	9エリア	沖縄	10エリア
供給力 (内 電源 I')	7,831 (146)	586 (10)	1,535 (40)	5,710 (95)	9,381 (242)	2,577 (73)	584 (14)	2,794 (81)	1,193 (28)	539 (13)	1,693 (34)	17,211 (388)	159 (388)	17,371 (388)
最大需要電力	7,448	542	1,463	5,443	8,804	2,419	548	2,623	1,120	506	1,589	16,253	118	16,371
供給予備力	383	44	72	267	576	158	36	172	73	33	104	959	41	1,000
供給予備率	5.1	8.1	4.9	4.9	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	5.9	34.4	6.1
予備力3%確保 に対する余剰分	159	28	28	104	312	86	19	93	40	18	56	471	37	509
【3月】	東3エリア	北海道	東北	東京	中西6エリア	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	9エリア	沖縄	10エリア
供給力 (内 電源 I')	7,074 (146)	580 (10)	1,446 (40)	5,068 (95)	8,464 (242)	2,364 (73)	530 (14)	2,482 (81)	1,092 (28)	493 (13)	1,503 (34)	15,537 (388)	173 (388)	15,710 (388)
最大需要電力	6,339	499	1,296	4,544	7,588	2,119	475	2,225	979	442	1,348	13,927	110	14,038
供給予備力	734	61	150	524	876	245	55	257	113	51	156	1,610	62	1,672
供給予備率	11.6	12.1	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.6	56.6	11.9
予備力3%確保 に対する余剰分	544	46	111	388	648	181	41	190	84	38	115	1,192	59	1,251

※ 供給力は、計画外停止を考慮して全国一律で2.6%（計画外停止率）を減じた値
 ※ 需要は、最大需要発生時の不等時性を考慮した値
 ※ 連系統の活用は、空容量の範囲内で各エリアの予備率が均平化するように供給力を移動
 ※ 連系統の空容量は、2022年度の供給計画に計上されたエリア間取引により算定

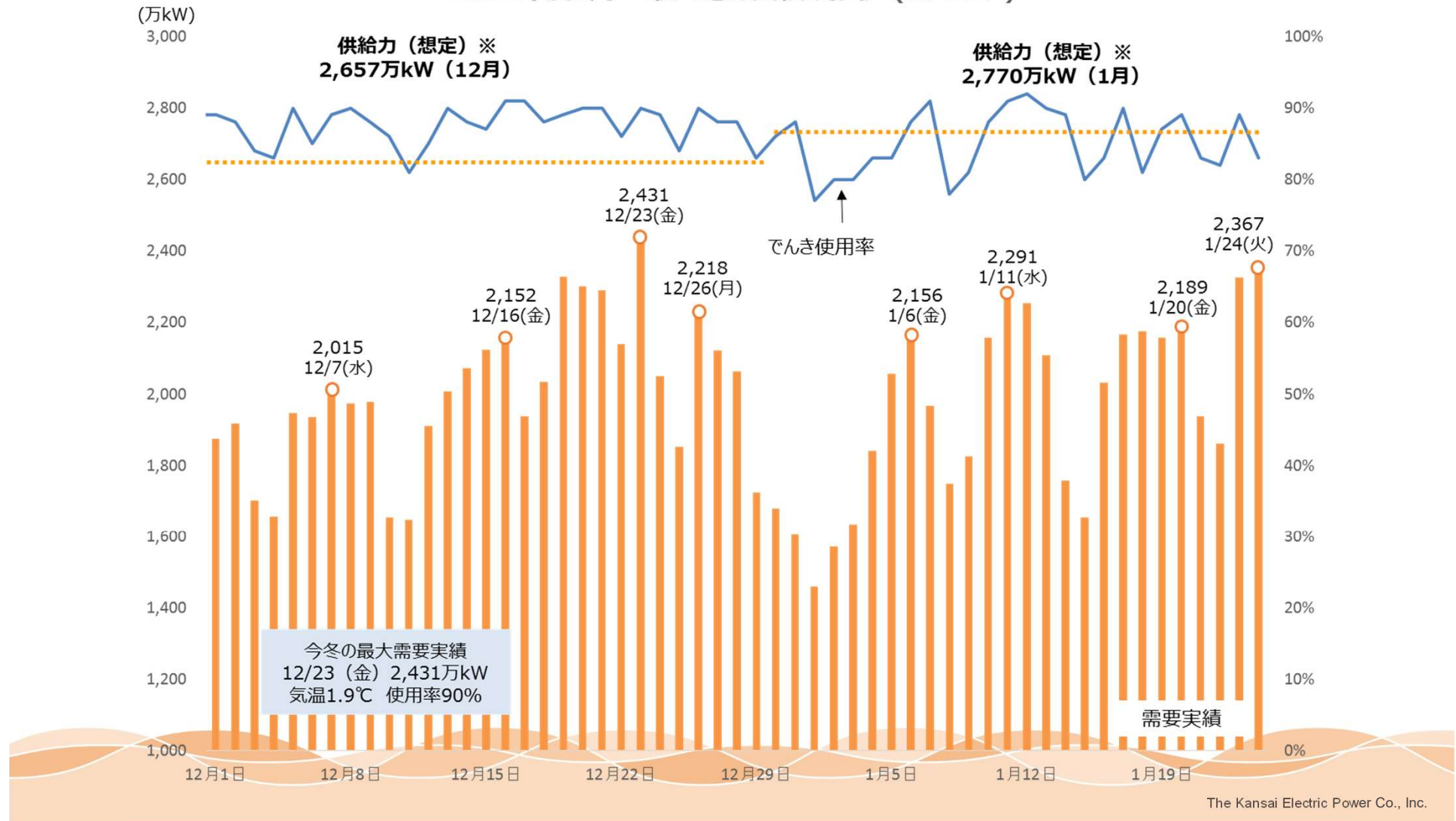
※ 電源 I' の供給力は、電源分・DR分ともに供給力として計上
 ※ 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

今冬の最大電力実績の推移（関西エリア）

12月1日から1月24日までの最大需要は2,431万kW（使用率90%）であり、今のところ、余裕ある電力需給状況です。引き続き、安全・安定供給に全力で取り組んでまいります。

※電力需給検証報告書（2022.10）

2022年度冬季 最大電力実績の推移（関西エリア）



来年度のエリア別の需給見通し

- 2023年度の夏（7～9月）は、東京エリアにおいて、予備率3.3%の見通し。
- 2023年度の冬（12～3月）は東京・中部エリアにおいて、予備率4.9%の見通し。
- ⇒ 今年度に引き続き、来年度も夏季を中心に依然として厳しい見通しが想定されている。

<夏季>

厳気象H1需要に対する予備率

<冬季>

	7月	8月	9月
北海道	11.6%	8.6%	14.9%
東北		8.3%	
東京	3.3%	4.2%	4.4%
中部	4.3%	5.5%	
北陸	14.6%	15.1%	17.4%
関西			
中国		19.4%	
四国			
九州	15.1%		
沖縄	23.3%	23.7%	27.6%

	12月	1月	2月	3月
北海道	12.8%	6.8%	9.0%	13.8%
東北	10.8%	6.0%	7.4%	
東京		4.9%		10.6%
中部				
北陸		7.0%		
関西				
中国	22.1%			
四国				
九州	10.7%			
沖縄		30.9%	32.6%	53.0%

(出典) 第78回 (2022年10月19日) 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会資料4 抜粋

	国の総合対策の項目	内容	実施主体
供給面	電源募集 (kW公募) 追加的な燃料調達募集(kWh公募)の実施	○kW公募は8社合同で東日本エリアで77.9万kW、西日本エリアで185.6万kW、kWh公募は9社合同で18.6 億 kWhを落札	関西送配電
	発電所の計画外停止の未然防止等の実施 (燃料確保を含む)	○巡視点検や日常点検等による各発電所の異常および異常兆候の早期把握・対処等 ○燃料ガイドライン (資源エネルギー庁) を踏まえた燃料確保 ○業界を超えた原燃料の融通に向けた関係箇所との連携	関西電力
	非化石電源の最大限の活用	○原子力5基体制の実現 ○自社太陽光について、監視映像および発電データの確認の徹底を通じた発電量の維持	関西電力
需要面	節電・省エネ対策の推進	○SNSやHP等を通じた各種節電・省エネ情報の発信	関西電力 関西送配電
	産業界や自治体と連携した節電対策体制の構築	○自治体等と連携した節電PRチラシの設置等 → 6	関西電力 関西送配電
	対価支払型のデマンドレスポンス (DR) の普及拡大	○低圧のお客さまを対象に、指定した時間および月間の節電量に応じて、「はぴeポイント」を進呈するプロジェクトを実施 ○高圧以上のお客さまを対象に、指定した時間および月間の節電量に応じて電気料金を割引く料金メニュー (特約) を設定 → 7~13	関西電力 7~13
	事業場の節電対応	○従業員の安全と健康の確保を前提に、各所の実態も考慮したうえで、空調、照明等の節電措置を実施	関西電力 関西送配電
	節電要請の高度化	○前々日段階の需給ひっ迫準備情報、前日段階の需給ひっ迫警報・注意報により、需給ひっ迫の可能性を早期に発信	関西送配電
	セーフティネットとしての計画停電の準備	○計画停電の枠組みをHPで公開(2018.7~) ○国や広域機関とも連携しながら適切に対応	関西送配電

需要面における具体的な取組み（節電PRチラシ）

節電にご協力をお願いいたします

今冬の電力需給は、安定供給に最低限必要な予備率3%を上回る見込み^{※1}です。しかしながら、急激な気温低下による需要の増加等を踏まえると、予断を許さない状況です。

夏季に引き続き、皆さまには、無理のない範囲で節電にご協力をお願いいたします。

※1 2022年度夏季の電力需給見込み(2022年11月1日 電力需給に関する検討会)

ご家庭における主な節電・省エネの方法

暖房器具



エアコンや電気カーペットの
設定温度は低めに

暖房便座



暖房便座の温度は
低めに

照明



不要な照明を
こまめに消灯

省エネ効果

外気温16℃の時、エアコン
(2.2kW)の暖房設定温度を
21℃から20℃にした場合
(使用時間:5時間/日)

年間で電気53.08kWhの省エネ
→約1,650円の節約

便座の設定温度を
1段階下げた(中一弱)場合
(貯湯式)

年間で電気26.40kWhの省エネ
→約820円の節約

54Wの白熱電灯1灯の
点灯時間を1日1時間
短縮した場合

年間で電気19.71kWhの省エネ
→約610円の節約

(出典)資源エネルギー庁 省エネポータルサイト

節電・省エネに
関する情報



詳しくはこちら ▶▶▶

(資源エネルギー庁 省エネポータルサイト)

電力の需給状況や
安定供給の取組み



詳しくはこちら ▶▶▶

(関西電力送配電ホームページ)

ご家庭等で低圧分野のお客さま向け「冬の節電プロジェクト2022」の概要

- 本プロジェクトにお申込みいただいたお客さまには、国の節電事業※による参加特典として2,000ポイントの「はぴeポイント」を進呈します。
- 節電の効果をさらに高めるべく、対象料金メニューの範囲を広げるなど、夏のプロジェクトから内容を拡充します。
※経済産業省の「令和4年度電気利用効率化促進対策事業」

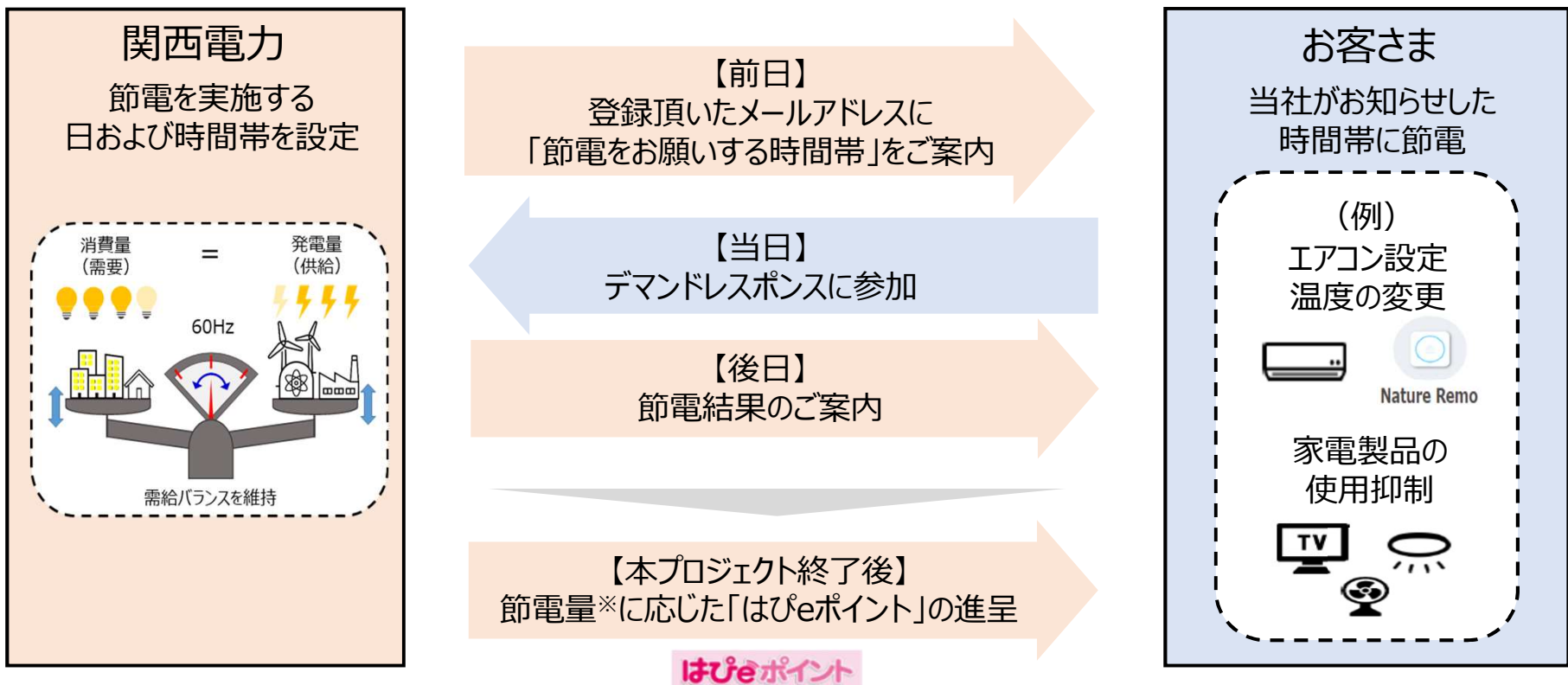
名称	冬の節電プロジェクト 2022
申込み期間	2022年9月29日（木）から2023年1月31日（火）まで ※国の節電事業による参加特典についても、2023年1月31日までに申し込みされた方が対象
ご参加いただけるお客さま	関西エリア・首都圏エリアで関西電力の低圧の対象料金メニューにご加入のお客さま （関西エリア）従量電灯A、従量電灯B、なつくでんき、なつくでんきBiz、eおとくプラン、はぴeセット、はぴeタイム、はぴeタイムR、eスマート10、時間帯別電灯、季時別電灯PS、withU-NEXTでんき、withU-NEXTでんき(Gセット)、withポイントでんきd、ふるさとECOプラン from 飛騨市、 [拡大] 低圧電力、深夜電力B、第2深夜電力、低圧総合利用契約 （首都圏エリア）はぴeプラス、 [拡大] 動力おトクプラス ※「はぴeみる電」にご加入いただく必要があります [登録無料]
国の節電事業による参加特典	参加特典として、2,000ポイントの「はぴeポイント」を進呈します。 ※ポイントの進呈にあたっては、「はぴeポイント」の進呈までに「はぴeポイント」への会員登録 [無料] が必要です。 ※ポイントの進呈は、参加いただいた取組みの数にかかわらず、一度のみとなります。 ※2023年1月31日までに申し込みいただく必要がございます。
お問い合わせ先	0800-777-8810 <受付時間> 月～金曜（土日祝日、年末年始を除く）10:00～17:00

○夏のプロジェクトで実施した「指定時間型（kW型）」に加えて「月間使用量型（kWh型）」も実施します。

実施方法	指定時間型（kW型）	新規追加 月間使用量型（kWh型）
対象期間	2022年12月1日（木）から 2023年3月31日（金）まで	2022年12月検針日から2023年3月検針日の前日 ※検針日はお客さまによって異なります。
概要	電力需給が逼迫するタイミングなど、当社が前日にお知らせする対象時間に節電にご協力いただくものです。	月間単位で節電にご協力いただくものです。
特典	節電量1kWhあたり <u>5ポイント以上</u> の「はぴeポイント」を進呈します。 ※お客さまごとに算定する標準的な使用量と実際の使用量を比較し、節電量の実績に応じて「はぴeポイント」を進呈します。 ※節電量とは、お客さまごとに算定する標準的な使用量よりも実際の使用量が下回る場合に算定した電気使用量です。	節電量1kWhあたり <u>1ポイント</u> の「はぴeポイント」を進呈します。 ※前年同月の使用量と実際の使用量を比較し、節電量の実績に応じて「はぴeポイント」を進呈します。 ※2023年1月分～3月分の電気ご使用量が前年同月と比べ下回ったお客さまが対象 ※節電量の計算にあたっては、1日あたりの平均ご使用量を使用します。1日あたりの平均ご使用量は、「ひと月の電気ご使用量 ÷ 検針期間の日数」。 ※節電量とは、1日当たりの平均ご使用量の差に検針期間の日数を乗じたものです。
※「はぴeポイント」の進呈は、実施期間の終了後に一括で進呈します。		
その他	「月間使用量型（kWh型）」「指定時間型（kW型）」は選択不要で全ての参加者に適用されます。	



- 当社が、「電気の需給ひっ迫の度合いが高まる時間帯」など節電をお願いしたい日（以下、「節電をお願いする時間帯」）の前日中にご参加いただけるお客さまにメールでご案内します。
 - 当日、「節電をお願いする時間帯」において節電いただいたお客さまには、節電量※ 1 kWh に対して5ポイント以上の「はぴeポイント」を進呈します。
- ※節電量は、過去の使用量に基づき、お客さまごとに算定される標準的な使用量から、実際の使用量を差し引いた値とします。



※節電量は、以下の通りです。

<スマートメーターが設置されているお客さま>

○「節電をお願いする時間帯」において、お客さまごとに算定する標準的な使用量に対して、実際の使用量が下回った場合に算定される、その削減量をいいます。

なお、標準的な使用量は、エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドラインに基づき、お客さまごとの過去の電気の使用状況を基に当社が算定します。

<スマートメーターが設置されていないお客さま>

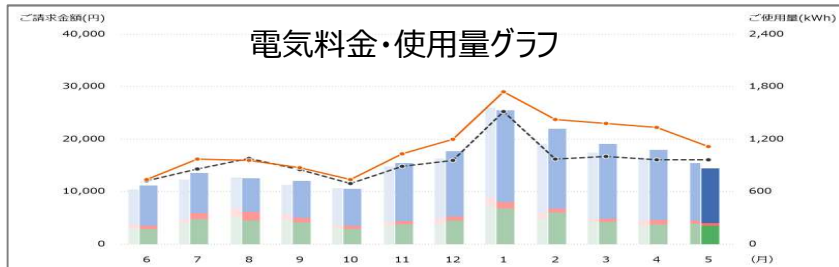
○「節電をお願いする時間帯」が含まれる月分における、お客さまごとに算定する標準的な使用量に対して、実際の使用量が下回った場合に算定される、その削減量をいいます。

なお、実際の使用量は、「節電をお願いする時間帯」が含まれる月分における「各月の30分あたりのご使用量」を元に、標準的な使用量は、前年（2021年）同月における、「各月の30分あたりのご使用量」を元に当社が算定いたします。1月の単位は電気特定小売供給約款および電気供給条件（低圧）、電気供給条件（低圧）【管外】によります。

- 「はぴeみる電」では、電気ご使用量の確認に加えて節電・省エネに資するコンテンツをご提供しています。
- また、関西電力のホームページでは、ご家庭で取り組める様々な省エネ方法をご紹介します。

はぴeみる電

最大過去25ヶ月の電気・ガス料金や使用量を分かりやすいグラフでチェックすることができます。また、月単位だけではなく、1日ごと・1時間ごとの使用量をチェック※1することができます。



※ご利用にはインターネット環境が必要です。通信費・インターネット接続費はお客さま負担となります。
 ※ご登録完了後は紙によるご使用量のお知らせ（検針票）はお届けしませんが、「はぴeみる電」から印刷・ダウンロードは可能です。

他にも節電・省エネに資するコンテンツをご提供しております。

省エネランキング・省エネレポート

- ・メニュー・エリアに応じたランキング
- ・使用量の特徴を“見える化”

電気を上手にダイエット

- ・節電目標を設定いただき、達成状況をチェックできる

アラートメール（※）

- ・設定いただいた電気使用量を超えた場合にメールを配信

省エネアドバイス

- ・省エネに関するアドバイスを配信

※：スマートメーターを設置されているお客さまにのみです。

ご家庭の節電・省エネ方法のご紹介

ご家庭で取り組める節電・省エネ方法をご紹介します！



詳細は関西電力のホームページでご紹介しております。

<https://kepcO.jp/ryokin/denki/hapielife/ecolife/>

エアコン

- 設定温度を控えめに
- ※控えすぎによる体調不良にはご注意ください。
- フィルターのこまめなお掃除を

冷蔵庫

- 設定温度を「強」から「中」に
- 庫内に詰め込みすぎない
- 壁から離して設置する

エコキュート

- 省エネモード設定がおススメ
- 毎日新たにお湯張りを
- 入浴はなるべく間隔をあけずに入る

その他家電

- LED電球に取り換える
- 「省エネラベル」を参考に選ぶ

○冬季 e リスpons 特約にご加入いただき、節電にご協力いただいたお客さまには、節電量に応じて電気料金を割引いたします。

申込期間	2022年11月18日（金）～2023年1月31日（火）まで		
対象のお客さま	当社の特別高圧または高圧の電気料金メニューにご加入のお客さま※1		
節電メニュー概要	メニュー	月間使用量型（kWh型）【必須加入】	指定時間型（kW型）【任意加入】
	割引方法	月間の使用電力量を前年同月より削減した場合に電気料金から割引	当社が指定する対象時間の節電量に応じて電気料金から割引
	対象期間	<特別高圧または高圧で契約電力500kW以上のお客さま> 2023年1月1日～3月31日 <高圧で契約電力500kW未満のお客さま> 2022年12月計量日～2023年3月の計量日の前日	2022年12月1日～2023年3月31日
	割引単価	節電量 1 kWhあたり ・1円 <割引加算される国の特典※2> 前年同月比▲3%の節電で 1需要あたり 2万円/月	節電量 1 kWhあたり ・電力需給ひっ迫警報等の場合 20円 ・上記以外の場合 5円 <割引加算される国の特典※2> 節電量 1 kWhあたり 上記の割引単価と同額
お問い合わせ先	法人ソリューションセンター 0120-926-280 <受付時間> 9:00～17:00（土日祝・年末年始を除く）		

※1 予備電力、自家発補給電力、農事用電力、深夜電力、臨時電力、融雪用電力等の契約種別や、太陽光発電設備用のパワーコンディショナ等の節電の余地が想定されないご契約はご加入対象外となります。
 ※2 経済産業省「電気利用効率化促進対策事業」の補助金事業に基づき実施。

○お申込みいただいたお客さまには、1 個人（需要場所単位）または1 事業者（法人単位）につき、1 回限り20万円を進呈します。

申込期間	2022年11月18日（金）から2023年1月31日（火）まで
ご申請いただけるお客さま	<p>上記の申込期間に「冬季 e リスpons 特約」にお申込みいただいたお客さま</p> <p><ご注意事項></p> <ul style="list-style-type: none">・複数のご契約をいただいているお客さまは、原則、本社所在地の需給契約地点を代表としてお申込みいただきます。・本社所在地の需給契約が当社とのご契約でない場合、申請いただけません。 （詳細は本社所在地のご契約先の小売電気事業者等にお問合せください）・他の小売電気事業者へ参加特典を申請済の場合は当社へ申請いただけません。・国および独立行政法人は付与対象外となります。

※経済産業省「電気利用効率化促進対策事業」の補助金事業に基づき実施。

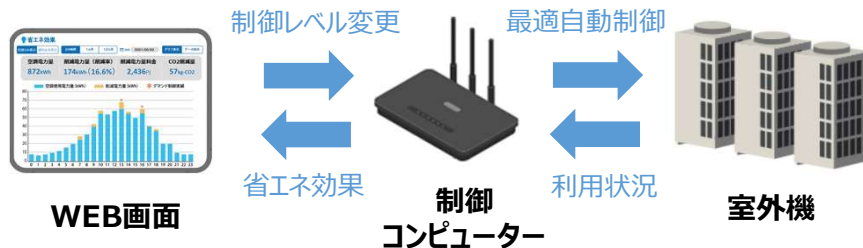
省エネ・省コストにつながるソリューションのご紹介

- 当社では、初期費用なし・月額制のサービス利用料で手軽に導入いただける空調制御サービスや省エネ支援サービスをご用意しております。
- 特に空調は建物全体の電力使用量のうち約34%※を占めるため、サービス導入により大きな削減効果が期待できます。

AI自動チューニング機能搭載 空調制御サービス

おまか**Save-Air**®

お客さまの空調室外機に制御用コンピューターを取り付け、利用状況などに応じて室外機を自動で制御することにより、**快適性を維持しながら、空調エネルギーの省エネを実現**します。



特長

- ¥ 初期費用0円・月額定額料金
- ≡ 最短2~3日で工事
- ☝ 主要国内メーカー対応
- 🔧 既設後付け可能

2023年3月31日までにお申込みいただいたお客さまを対象にサービス開始日から**6カ月間サービス料金無料!** ※

※1法人につき1業態1地点のみ。無料トライアル期間終了日の10営業日前までに解約のお申し出がない場合は、自動的に有料契約に移行します。
なお、お客さまの設備設置状況により、キャンペーンをご利用いただけない場合がございます。

詳細はコチラ! <https://sol.kepco.jp/aircontrol/>

法人向けクラウド省エネ支援サービス

エナッジ®

AIによる「電力予測」と取るべき「省エネアクション」を分かりやすい画面で表示し、従業員の**省エネ行動の習慣づくりを支援**します。

「エナッジ」は、関西電力株式会社と株式会社アイ・グリッド・ソリューションズが共同開発したサービスです。



2020年度
省エネ大賞
(経済・ビジネスモデル部門)
主催：一般財団法人省エネセンター



タブレット画面

※画像はイメージです



詳細はコチラ! <https://sol.kepco.jp/enudge/>

- 昨年2月のウクライナ紛争以降LNG需給がタイト化する中、ロシアからのガス供給量減少やLNG生産トラブルに加え、欧州の猛暑・渇水や冬場に備えた地下ガス在庫確保といった需要側要因も重なりさらに高騰
- 昨年秋以降は、温暖な気候や欧州ガス貯蔵の充足によりLNG価格は下落。冬季の燃料需要期に入り再び上昇するも、足下は世界的に気候が温暖であること等によりやや下落

アジアLNGスポット価格



- 昨年2月のウクライナ紛争以降、世界的なエネルギー需給ひっ迫の懸念により高騰したものの、欧米のインフレ懸念による景気減退、中国のコロナ感染再拡大による石油需要減退懸念等により緩やかに下落
- その後12月の欧州でのロシア産原油の禁輸前に再度上昇したものの、足元、世界的な利上げ加速による更なる景気減退観測の影響等を受け下落傾向が継続中

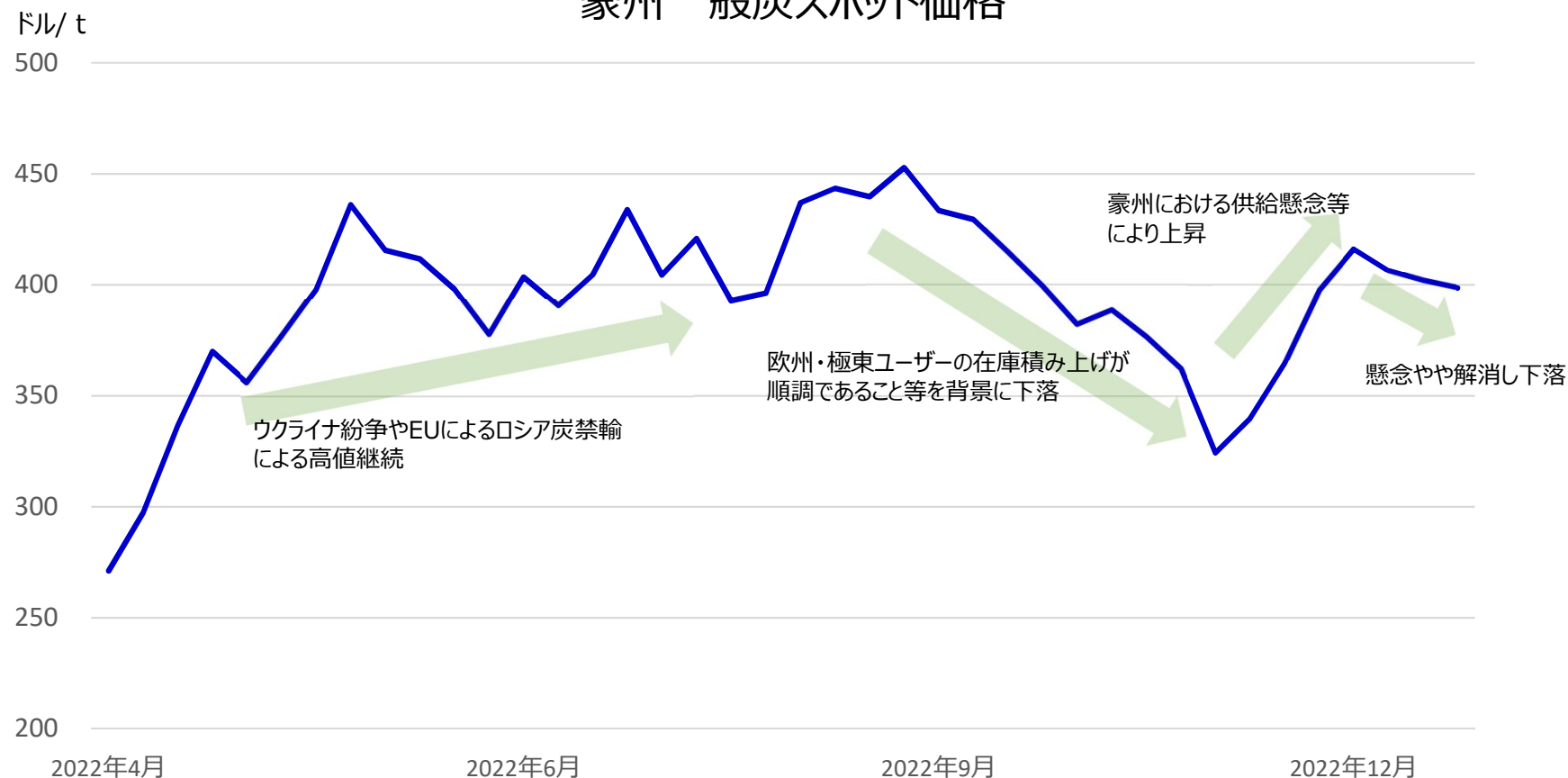
Brent (英国北海油田価格)



【参考】石炭市況

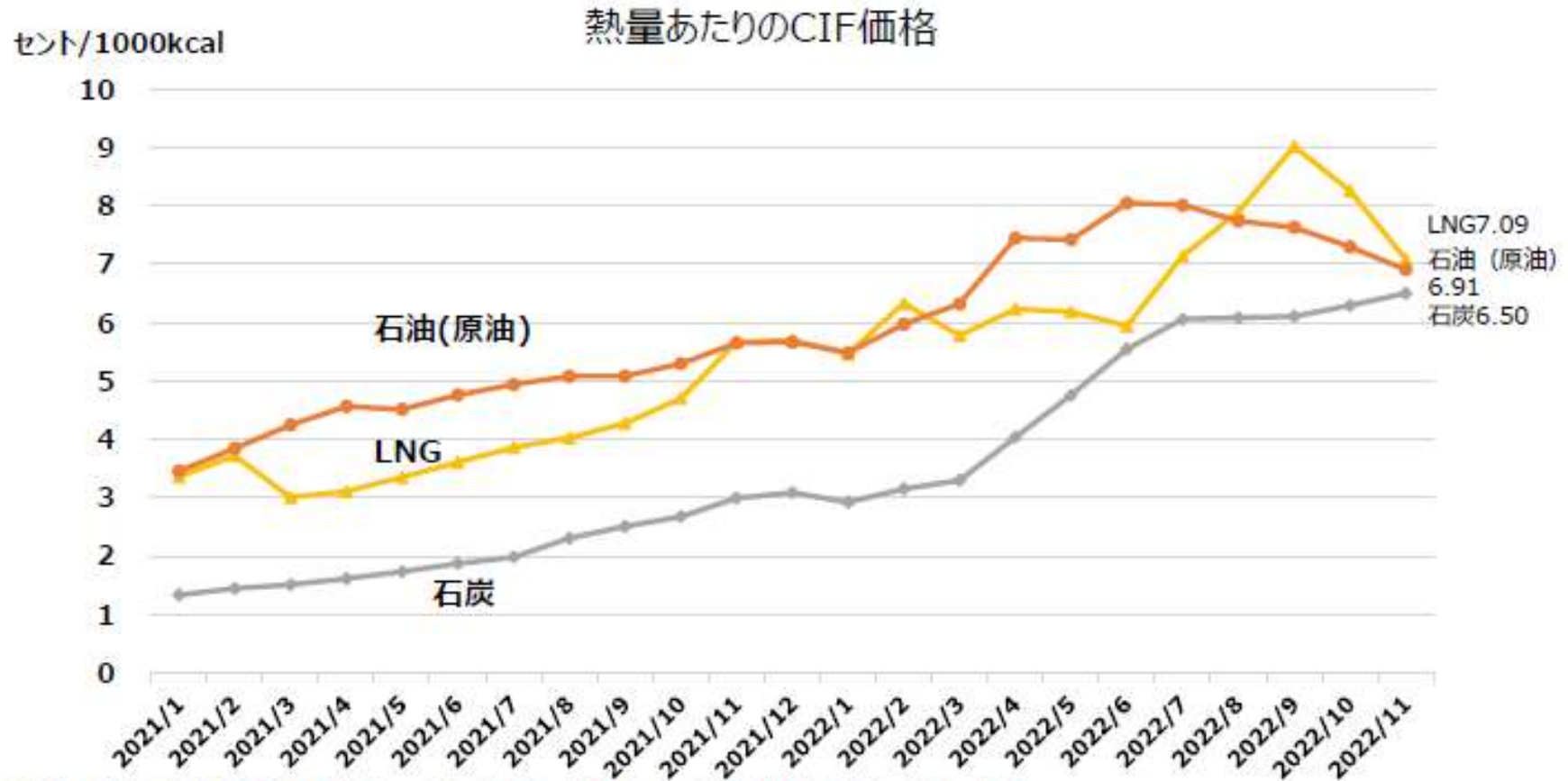
- 昨年2月のウクライナ紛争の影響を受けて高騰しているところ、昨年8月以降のEUによるロシア炭禁輸実施等によりさらに供給量が不足し、需給がタイト化
- 昨年秋以降は、欧州・極東アジアの需要家の在庫積み上げが順調であることや温暖な気候が続いたことにより、数か月間下落傾向であったが、冬季に入り豪州での炭鉱操業トラブル等により再び上昇。現在はこの懸念が解消しやや下落傾向

豪州一般炭スポット価格



【参考】熱量あたりの燃料別輸入価格の推移

- 燃料ごとの熱量あたりの燃料価格（輸入平均価格）は、2021年以降上昇傾向にある。特に石炭の上昇が大きく、直近ではLNGや石油（原油）とほぼ同じ価格水準となっている。



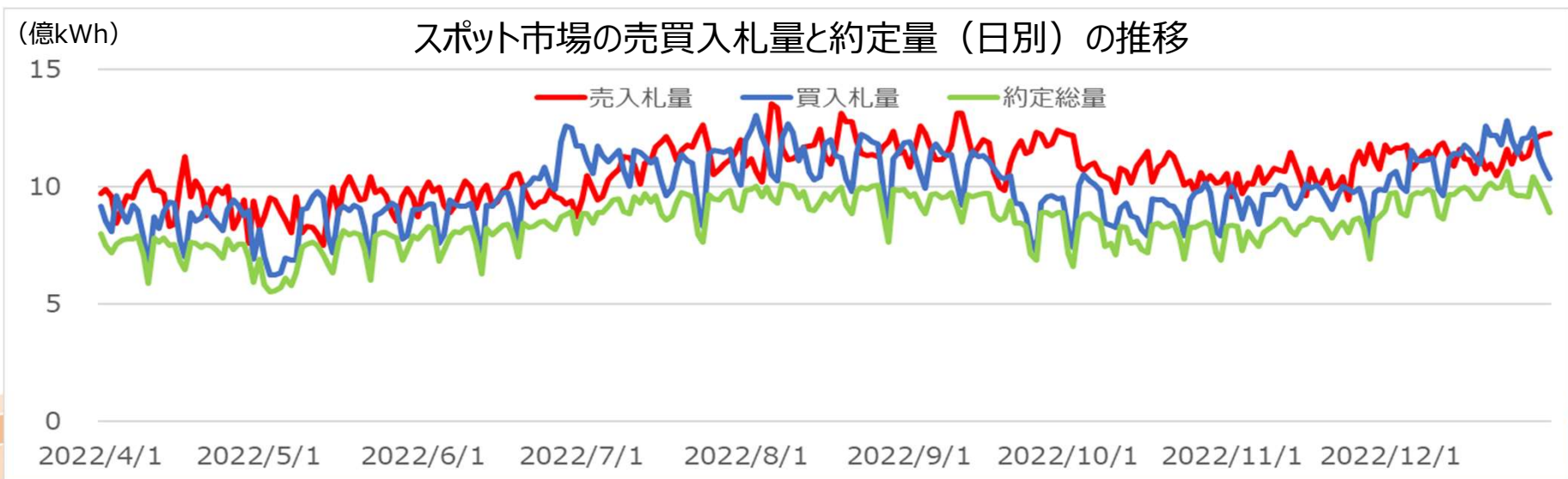
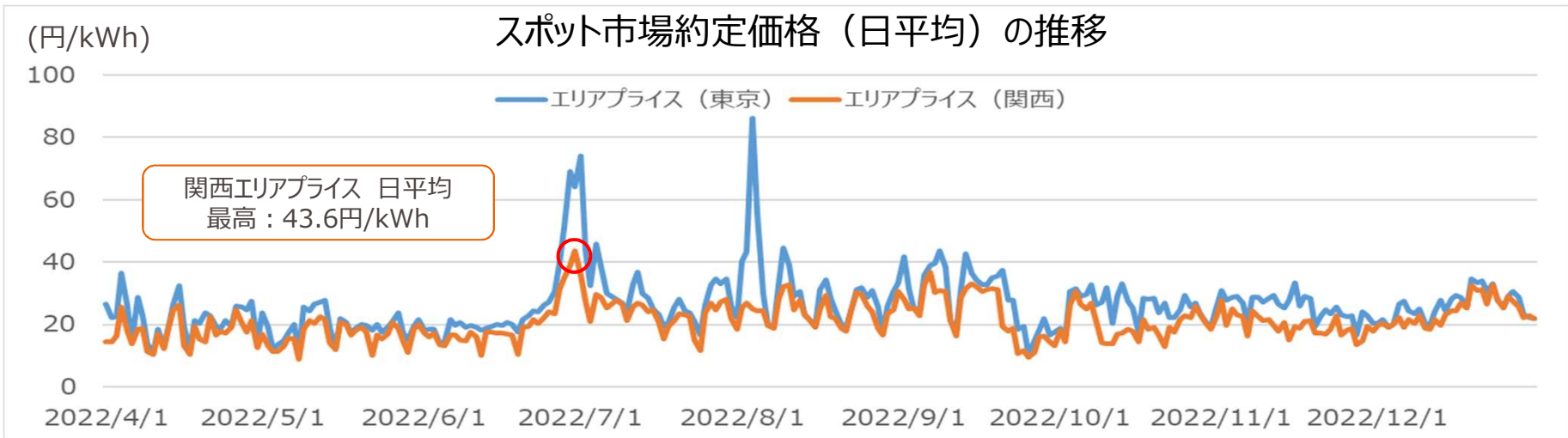
（出所）日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット「平均輸入エネルギーCIF価格（ドル/カロリー）」を基に作成。

※それぞれの統計値は発電用以外の用途のものも含まれている価格である点に留意。

※石油火力については、原油を直接利用せず、国内で精製した重油を用いている場合も多い点に留意。

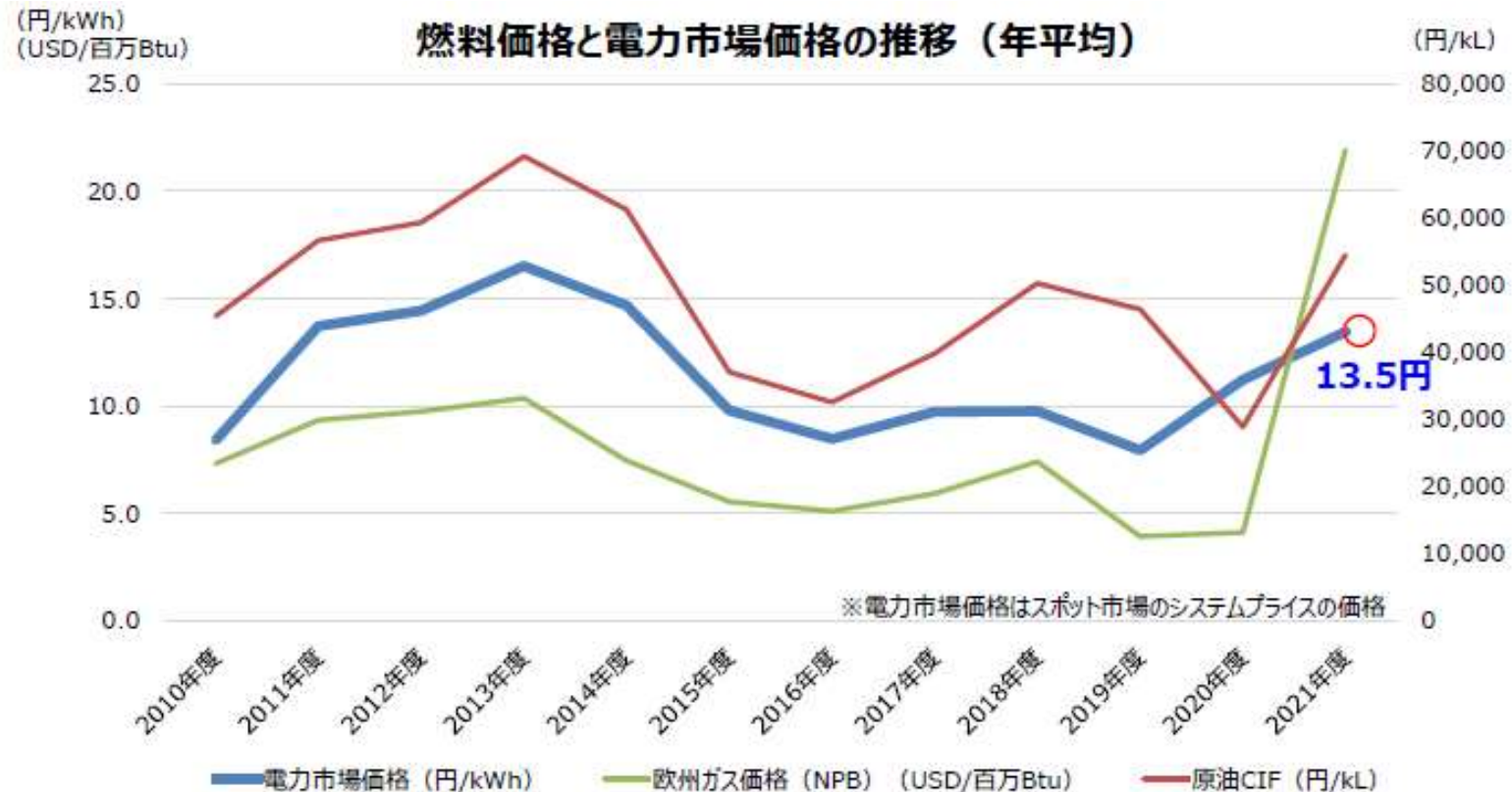
【出典】2023.1.25開催 第58回 電力・ガス基本政策小委員会資料から抜粋

- JEPXスポット市場は、冬季の需要期に入ってから日平均20円を超える日はあるものの、6月末に最高値の43.6円/kWhとなって以降、40円を超える価格高騰は発生していない。
- 売買入札量についても、11月以降は気温の低下に伴う電力需要の増加等を背景に、買入札量が売入札量を上回る状況が一時発生しているものの、スポット市場価格の大きな上昇には繋がっていない。



【参考】燃料価格と卸電力市場価格の関係

- 日本の卸電力市場価格は従前より燃料価格と強く相関。
- 足元では米欧アジア各地域でLNG・天然ガス価格が例年に比して高騰しており、**燃料価格高騰等を背景に電力市場価格も上昇。**



	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
電力市場価格 (円/kWh)	8.4	13.7	14.4	16.5	14.7	9.8	8.5	9.7	9.8	7.9	11.2	13.5

出典：資源エネルギー庁 電力・ガス基本政策小委員会（2022年5月17日）

○国による電気料金高騰対策について、10/28の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」において、実施規模や時期について大枠が示された。

■ 10/28「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」〈抜粋〉



〈電気料金の激変緩和策について〉

- 来春以降の急激な電気料金の上昇によって影響を受ける家計や価格転嫁の困難な企業の負担を直接的に軽減するため、来年度前半にかけて、小売電気事業者等を通じ、毎月の請求書に直接反映するような形で、前例のない、思い切った負担緩和対策を講ずる。
- 家庭に対しては、来年度初頭にも想定される電気料金の上昇による平均的な料金引上げ額を実質的に肩代わりする額を支援し、企業より手厚い支援とする。
 - 低圧契約の家庭等：1kWhあたり7円（家庭の現行の電気料金の2割程度に相当）
 - 高圧契約の企業等：1kWhあたり3.5円（FIT賦課金の負担を実質的に肩代わり）
- 脱炭素の流れに逆行しないよう、来年9月は激変緩和の幅を縮小する。
- 来年春に先駆けて着手し1月以降の可及的速やかなタイミングでの開始を目指す。

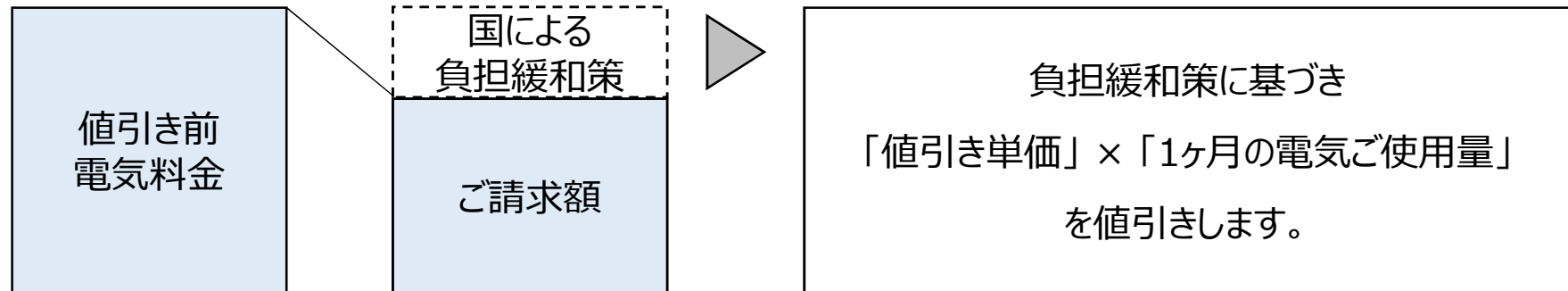
出典：物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策（2022年10月28日）

- 国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業（以下、負担緩和策）」に基づき、電気料金からの値引きを適用します。
- 本措置の適用にあたり、お客さまからのお申込みは必要ありません。
- 国の負担緩和策の都市ガス小売事業者としての措置は、当社による申請が国に採択され次第、お知らせします。

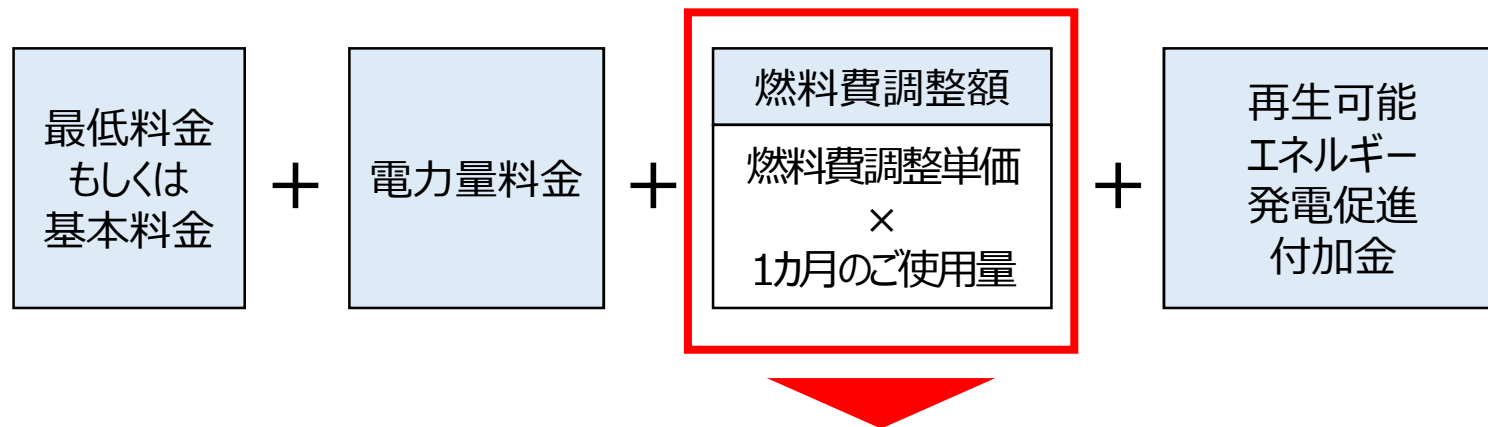
対象のお客さま	当社と低圧または高圧※の電気需給契約があるお客さま ※特別高圧のお客さまは対象外	
期間	2023年1月ご使用分～2023年9月ご使用分 (2023年2月分料金～2023年10月分料金)	
値引き単価※ (税込)	低圧のお客さま	1kWhあたり7.0円
	高圧のお客さま	1kWhあたり3.5円
値引き方法	毎月の電気料金の計算において燃料費調整額等に値引き額を反映します。	
その他	契約変更に伴う書面交付は行いません。	

※2023年9月ご使用分(2023年10月分)の電気料金への負担軽減は縮小(半減)されます。
低圧(1kWhあたり3.5円)、高圧(1kWhあたり、1.8円)

＜負担緩和策を踏まえたご請求額のイメージ＞



＜一般的な電気料金の計算方法＞



負担緩和策の期間は、
毎月「値引き単価」を差し引いて燃料費調整額を算定します。

「電気・ガス価格激変緩和対策事業」による値引き額等の確認方法（はぴeみる電）

- 1 燃料費調整額は値引き額※を反映した金額となっています。
- 2 燃料費調整単価は、値引き単価（**b**）を差し引いたものとなっています。

※値引き額 **a** [ご使用量] × **b** [値引き単価] で算出できます。

【はぴeみる電のイメージ】

過去3ヶ月の詳しい検針結果をみる

The screenshot shows the 'はぴeみる電' interface. At the top, it says '電気ご使用量のお知らせ' (Electricity Usage Notice) for 'XXXX 様' (Mr. XXXX). Below this, there are three tabs for different months: 'xxx年x月分', 'xxx年x月分', and 'xxx年x月分'. The selected month shows a bill amount of 'XX,XXX 円' (XX,XXX Yen) and a usage of 'XXX kWh'. A red box highlights the 'XXX kWh' value, labeled with a circled 'a'. To the right, there are details about the contract menu, usage period, payment method (credit), and payment status.

ご請求金額の内訳・検針日

[電気料金の単価表についてはこちら](#)

ご請求金額の内訳

最低料金	xxx円xx銭
電力量料金	--
1段料金	x,xxx円xx銭
2段料金	x,xxx円xx銭
1 燃料費調整額	+x,xxx円xx銭
再エネ促進賦課金	xxx円xx銭
消費税等相当額再掲	xxx円xx銭
託送料金相当額再掲	x,xxx円xx銭
うち賠償負担金相当額 及び廃炉円滑化負担金相当額	xx円xx銭

1

燃料費調整・再エネ促進賦課金

燃料費調整(単価名称)	
年月分	xxxx年x月分
最初の15kWhに対して	+xxx円xx銭
15kWhを超える1kWhにつき	+x円xx銭
年月分	xxxx年x月分
最初の15kWhに対して	+xxx円xx銭
15kWhを超える1kWhにつき	+x円xx銭
再エネ促進賦課金(単価名称)	
年月分	xxxx年x月分
最初の15kWhに対して	xx円xx銭
15kWhを超える1kWhにつき	x円xx銭

2

検針日

今回検針日	x月x日
次回検針日	x月x日

※託送料金相当額と賠償負担金相当額・廃炉円滑化負担金相当額の詳細については、こちらをご確認ください。
 ※電気のご利用金額に応じて「たまる」はぴeポイントの算出につきましては、ご請求金額（税込）から再エネ促進賦課金を除いたものとなります。

（ご利用金額に応じたポイント算出・加算については、対象外となるご契約メニューがございます。）
 なお、電気料金のお支払いに「はぴeポイント」をご利用された場合は、そのご利用金額分を差し引いた金額から算出いたします。

※繰越ポイントは、ご請求時点のものとなります。
 ※繰越ポイントは次月のご請求に使用させていただきます。

※託送料金相当額は、低圧託送料金平均単価を基に算定した参考値です。

b

※燃料費調整単価には、国による「電気料金軽減措置（▲7円/kWh）」を含んでいます。
 詳しくはこちらをご確認下さい。

「電気・ガス価格激変緩和対策事業」による値引き額等の確認方法（検針票）

- 1 燃料費調整額は値引き額※を反映した金額となっています。
- 2 燃料費調整単価は、値引き単価（b）を差し引いたものとなっています。

※値引き額 a [ご使用量] × b [値引き単価] で算出できます。

【検針票のイメージ】

(表面)

ご使用量	a	××× kWh
計器番号	×××	
当月指示数	××××	
前月指示数	××××	
ご参考：前年同月ご使用量（期間 ×月×日～×月×日）		
	××× kWh	
対前年同月比	+×××%	
ご請求金額 ×××× 円		
初回振替日	×月 ×日	再振替予定日 ×月 ×日
お支払期限日 ×月 ×日		
×月分料金の振替日は×月×日となります。 なお、振替日に引落しができなかった場合は、 ×月×日に、再度引落しをさせていただきます。		
(内訳)	円 銭	(内訳) 円 銭
最低料金	×××.××	口座振替割引額
1段料金	××××.××	再エネ促進賦課金
2段料金	×××.××	消費税等相当額（再掲）
1	燃料費調整額	+×××.××
単価名称 月分 最初の15kWhに対して 15kWhを超える1kWhにつき		
2	燃料費調整	当月分 +×円×銭 翌月分 +×円×銭
再エネ発電促進賦課金	当月分	×円×銭

(裏面)

燃料費調整単価について

b 燃料費調整単価には、国による「電気料金軽減措置 (▲7円/kWh)」を含んでいます。

高圧および特別高圧のお客さま向け「標準メニュー」の受付開始

- 高圧および特別高圧のお客さま向けの「標準メニュー」について、12/15から申込受付を開始し、2023年4月1日から供給を開始する予定。なお、基本料金単価、電力量料金単価、燃料費調整は、現行の「標準メニュー」から変更しない。

- 対象は、関西電力送配電エリアのみ（滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県（一部を除く）、福井県の一部、岐阜県の一部、三重県の一部）。
- 受付は、原則、当社WEBサイトにて実施。なお、「標準メニュー」のお申込み状況や供給力確保の状況、今後の燃料情勢等によっては、新規申込みのご要望にお応えできない可能性あり。
- 関西電力送配電（株）による託送供給等約款の見直しが2023年4月に予定されており、その内容が決定次第、それらを反映した「標準メニュー」の単価を改めて公表する予定。なお、高圧のお客さまには、別途、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」に基づく電気料金の値引きを実施する。

- なお、標準メニュー、卸市場価格連動メニューおよび最終保障供給（LR）の関係性は以下のとおり。3つの中では、標準メニューがもっとも割安となる。卸市場価格連動メニューのお客さまには年明け以降、標準メニューへの切替えを案内する予定。

■標準メニュー、卸市場価格連動メニューと見直し後の最終保障供給との比較

	メニュー	基本料金 (円/kW)	電力量料金 (円/kWh)
関西電力	標準メニュー	★	◆
	卸市場価格連動メニュー	★	◎（市場連動） ※1
関西電力送配電	見直し後の最終保障供給	★×1.2	◎（市場連動） ※2

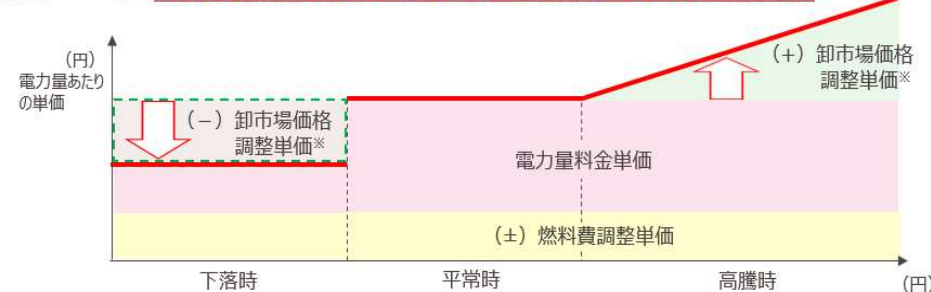
同一記号は、同じ金額を示す。なお、◎≧◆×1.2

※1：その他季単価のみ設定

※2：夏季単価（7月～9月）、その他季単価（7月～9月以外）を設定

＜電力量あたりの単価変動イメージ＞

○電力量あたりの単価は、電力量料金単価・燃料費調整単価・卸市場価格調整単価で構成しており、燃料費調整単価および卸市場価格調整単価により変動。



※ 前々月21日～前月20日までの日本卸電力取引所（JEPX）のスポット市場価格の実績値（関西エリアプライス）に応じて変動。

ご清聴、ありがとうございました。

